

Photo Yaotsu ～まちの話題～

八百津小学校3年生 だんじりを見学



実際にだんじりに乗ってその大きさに驚いていました。

6月4日、八百津小学校で古里を研究テーマとする総合学習「五宝の時間」が行われ、3年生35人が春に行われる八百津まつりのだんじりを見学しました。

八百津在住の青木茂雄さんの指導の下、八百津まつりについて学習し、1回目は八百津まつりの話を聞き、2回目の今回は実際だんじりにも触れたり、巻き尺で大きさを測ったりしました。

児童らは、お祭り当日はだんじりをじっくりと観察できないため、大きな木製の車輪や藤づるで締め上げた骨組みを熱心に観察していました。

3回目は、お祭りのお囃子について学習しました。

八百津保育園の園児たちがアユを放流

6月6日、可児市今渡の関西電力株式会社今渡電力システムセンターが、6月の環境月間に合わせ、木曽川中流漁業協同組合の協力を得て、八百津橋下と旅足川上流で100kg(約8,000匹)のアユの稚魚を放流しました。

八百津橋下での放流は八百津保育園年長児24人を招いて行われ、園児たちは、気持ちよさそうに泳ぐ魚影に「元気でね」「お魚さんバイバ～イ」「大きくなってねえ」などと可愛らしい声をかけたり、浅瀬を泳ぐ姿を見て歓声を上げたりしていました。



アユを放流する園児

保育園児交通指導



飛び出しの危険を勉強しました。

6月7日、八百津町の錦津、久田見、潮南保育園の園児18人(年長)が、美濃加茂市前平町の加茂自動車学校で交通指導を受けました。

保育園の依頼を受けた加茂自動車学校が、加茂警察署、加茂地区交通安全協会の協力により実施したもので、今年で3回目となります。

この日は、正しい横断歩道の渡り方や大型トラックの内輪差、飛び出しの怖さについて学習しました。

21日に和知保育園の園児26人が、7月16日には八百津保育園の園児25人が指導を受けました。